

## 「ゼロカーボン北海道」シンポジウム

2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、産業構造や社会インフラ整備の変革への動きが加速化していく中、道内自治体や経済界、産業界など幅広い層の主体による脱炭素に向けた取組が求められております。

こうしたことから、北海道及び一般財団法人北海道建設技術センターでは、ものづくりからまちづくりまで広範な取組をご紹介します。北海道の可能性などについて、参加者とともに考える機会とすることを目的に、次のとおりシンポジウムを開催することといたしました。

### 記

#### 開催概要

- (1) 日 時 令和4年(2022年)7月15日(金) 14:00～16:00
  - (2) 会 場 札幌プリンスホテル パミール(北海道札幌市中央区南2条西11丁目)
  - (3) 主催・後援  
主催：北海道、一般財団法人北海道建設技術センター  
後援：ゼロカーボン北海道推進協議会、  
一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会
  - (4) 内 容  
○基調講演(45分) トヨタ自動車株式会社サステナビリティ推進室総括 大塚 友美 氏  
○パネルディスカッション(70分)
- <パネリスト>
- ・トヨタ自動車株式会社サステナビリティ推進室総括 大塚 友美 氏
  - ・北海道エアポート株式会社代表取締役社長 蒲生 猛 氏
  - ・岩田地崎建設株式会社環境ソリューション部長 上村 英史 氏
  - ・一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会代表理事 増山 寿一 氏
  - ・株式会社ニセコまち取締役 村上 敦 氏
- (5) 参加者 300名(無料)
- 【受付サイト】 <https://sites3.net-convention.com/zero-carbon-hokkaido/>

建設部建設政策局建設政策課建設政策係

係長 菊池 俊

電話：(011)206-6439 / E-mail：kikuchi.takashi5@pref.hokkaido.lg.jp

環境生活部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課ゼロカーボン戦略係

主査 遠藤 泰史

電話：(011)206-7948 / E-mail：endou.taishi@pref.hokkaido.lg.jp

# ゼロカーボン北海道 シンポジウム

関連展示  
あり

～ゼロカーボンな「ものづくり」、「まちづくり」を目指して～

2050年ゼロカーボン北海道の実現に向けて、産業構造や社会インフラ整備の改革への動きが加速化していく中で、道内自治体や経済界、産業界など幅広い層の主体による脱炭素に向けた取組が求められています。本シンポジウムでは、最新のゼロカーボンの取組事例などを共有し、「ものづくり」から「まちづくり」まで北海道の可能性などについて参加者とともに考えます。

## 2022年7月15日(金) 14:00～16:00 (開場 13:00)

会場 | 札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階 (北海道札幌市中央区南2条西11丁目)

定員 | 300名 **無料**  
※事前のお申込が必要です

参加受付はこちらから

<https://sites3.net-convention.com/zero-carbon-hokkaido/>



14:00 開会挨拶

14:05 基調講演

おおつか ゆみ  
**大塚 友美氏** (トヨタ自動車株式会社  
執行役員・Chief Sustainability Officer)

14:50 パネルディスカッション

おおつか ゆみ  
**大塚 友美氏** (トヨタ自動車株式会社  
執行役員・Chief Sustainability Officer)

がもう たけし  
**蒲生 猛氏** (北海道エアポート株式会社  
代表取締役社長)

ますやま としかず  
**増山 壽一氏** (一般社団法人カーボンニュートラル  
推進協議会代表理事)

うえむら えいじ  
**上村 英史氏** (岩田地崎建設株式会社  
環境ソリューション部長)

むらかみ あつし  
**村上 敦氏** (株式会社ニセコマチ  
取締役)

いまい ふとし  
**今井 太志氏** (北海道環境生活部  
ゼロカーボン推進監)

16:00 閉会挨拶

# ゼロカーボン北海道シンポジウム

## 講演者・パネリスト・コーディネーター プロフィール

### 講演者・パネリスト



おつか ゆみ  
**大塚 友美 氏**

トヨタ自動車株式会社  
執行役員・Chief Sustainability Officer

1992年、トヨタ自動車入社。初代ヴィッツ等国内向け商品の企画、ダイバーシティプロジェクト等の人事施策の企画・推進、海外営業部門にて収益・人事管理、未来のモビリティのコンセプト企画、GAZOO Racing Company(モータースポーツ・スポーツカー)統括等複数分野を経験。2020年2月よりDeputy Chief Sustainability Officer(新設)としてサステナビリティへの取り組みを担当。2021年6月より現職。

### パネリスト



がもう たけし  
**蒲生 猛 氏**

北海道エアポート株式会社  
代表取締役社長

1981年、旧運輸省(現国土交通省)入省。主に航空関係に従事。特に空港周辺の騒音を中心とする環境対策、地域対応及び飛行ルート策定を含む航空管制業務を長く担当。具体的には大阪伊丹空港の存廃問題、福岡空港訴訟、成田空港二本目滑走路整備の地域対応、名古屋小牧空港の県営化、那覇空港を始めとする沖縄の空港運用、羽田空港四本目滑走路整備に伴う飛行ルートの策定、地域対応等を担務とした。北海道では札幌陸運局、北海道運輸局の2回、約4年に渡り勤務。国鉄赤字ローカル線廃止問題、道内バス、タクシー、トラック行政を担当。

### パネリスト



ますやま としかず  
**増山 壽一 氏**

一般社団法人カーボンニュートラル  
推進協議会代表理事

通商産業省(現経済産業省)に入省後、資源エネルギー庁・省エネルギー・新エネルギー政策課長、JOGMEC(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)総務部長などのポストを経て、北海道経済産業局長、独立行政法人中小企業基盤整備機構 筆頭理事、環境省特別参与に就任。現在は、グローバルな視点でマクロ経済を提唱する政策・再生エネルギーコンサルタントとして、IT、エネルギー関係企業及び、上場を目指すベンチャー企業などへの経営指導を行う。主な著書は『日本を元気にする処方箋』(文芸社)『AI(愛)ある自願を持つ!』(産経新聞出版)。

### パネリスト



うえむら えいじ  
**上村 英史 氏**

岩田地崎建設株式会社  
環境ソリューション部長

1989年4月、岩田建設株式会社(現・岩田地崎建設株式会社)建築部に入社、以降営業部門に異動し民間リニューアル案件を担当し、既存マンションの外断熱改修を实践、現在は環境ソリューション部長。SDGs推進委員会においては事務局長を務め、サステナビリティレポート作成とSDGs推進活動に取り組んでいる。サステナビリティレポートにて紹介している「新たなエネルギー活用技術の開発・開発途上国へ日本のZEB技術発信」などのプロジェクトを担当している。

### パネリスト



むらかみ あつし  
**村上 敦 氏**

株式会社ニセコマチ  
取締役

ドイツ在住のジャーナリスト。環境コンサルタント。  
日本で土木工学部、ゼネコン勤務を経て、環境問題を意識し、ドイツ・フライブルクへ留学。フライブルク地方役場(ブライスガウ・ホッホシュバルツバルト郡)建設局に勤務の後、2002年から独立し、ドイツの環境政策、都市政策、エネルギー政策などを日本に紹介する。多様なメディアへの寄稿と企画協力、環境関連の調査、自治体/企業へのコンサルティング、講演活動が続ける。『ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか? 近距離移動が地方都市を活性化させる(学芸出版社2017年)』など著書、共著、訳書など多数。南ドイツの自治体や環境関連の専門家、研究所、NPOなどとのネットワークも厚い。

### コーディネーター



いまい ぶとし  
**今井 太志 氏**

北海道環境生活部  
ゼロカーボン推進監

1995年4月、自治省へ入省後、北海道庁へ出向。その後、総務省消防防災課、北海道総務部財政課長、北海道大学高等教育推進機構特任教授、アイヌ民族文化財団専務理事兼事務局長、総合政策部地域創生局長などのポストを経て、現職に就任。主な著書は『誰にでも分かる自治体財政指標の読み方(ぎょうせい2009年)』『自治体の財政診断-財政指標の見方・読み方・考え方(ぎょうせい2022年)』、主な寄稿は『これからの財政状況の開示-住民・議会・職員への説明のポイント-』『地域おこし協力隊の姿-隊員、市町村、地域それぞれの目線から-』など。

--- 新型コロナウイルス感染症対策について(来場の方へ) --- 開催に当たっては、新北海道スタイルなど新型コロナウイルス感染症対策を完全に実施します。

- 座席は間隔を空けるよう配置し、ステージと客席の距離も十分確保します。
- 会場入口にアルコール消毒剤を用意し、手指消毒をお願いします。
- マスク着用をお願いします。
- 当日「北海道コロナ通知システム」登録をお願いします。
- 当日受付での検温により、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。